



# シンポジウム

# 玄界島が伝えるもの

# 震災と地域の文化

再生の島から  
人と文化の力を考える

2017  
3/11  
(土)



文化庁

平成28年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

司会：有馬学（福岡市博物館長）

◆松村利規（福岡市博物館学芸課主任学芸主事）  
◆玄界島の年中行事 『新修 福岡市史 民俗編—春夏秋冬・起居往来』より

◆中野紀和氏（大東文化大学経営学部教授）

◆災害復興と地域資源の活用

—福岡県西方沖地震の被災地・玄界島の住民の語りから—

時間：13時30分～（開場13時）

場所：福岡市博物館講堂

聴講無料

※事前のお申し込みは不要です。

※お問合せ 092(845)5011



福岡市博物館  
Fukuoka City Museum

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1  
TEL：092-845-5011 FAX：092-845-5019  
開館時間：午前9時30分～午後5時30分まで  
休館日：月曜日（月曜日が祝休日の場合は開館し、翌平日に休館）



# シンポジウム

# 玄界島が伝えるもの

# — 震災と地域の文化

博多湾岸  
「金印ロード」



災害は、地域の文化や伝統に大きな影響を与えます。

平成 17 年（2005）3 月 20 日に発生した福岡県西方沖地震。

博多湾に浮かぶ玄界島は、全島避難を余儀なくされる甚大な被害を受けましたが、3 年後、復興を果たします。

島の人々が伝えてきた文化と暮らしの知恵は、そのなかでどのように活かされていったのでしょうか。

このことをテーマとしたシンポジウムを開催します。

まつり、年中行事、人生儀礼……人々の心と地域の伝統を伝える形のない文化財は、震災でどのように変容するのか、そして、地域の復興にどのような役割を果たすのか…。

再生の島・玄界島を例にして、一緒に考えてみませんか？ — 明日の自分たちのために。

日時:平成 29 年 3 月 11 日 (土)  
13 時 30 分～ (開場 13 時)

場所:福岡市博物館 講堂

★★★聴講無料★★★

※事前のお申し込みは不要です。

## 講師紹介

### 中野 紀和 (なかの・きわ)

大東文化大学経営学部 教授・博士 (社会学)

主著:『小倉祇園太鼓の都市人類学—記憶・場所・身体』古今書院 2007 年

『民俗文化の探究』(共著)岩田書院 2010 年

『トランスナショナルな「日系人」の教育・言語・文化 — 過去から

未来に向かって』(共著)明石書院 2012 年

『はじめて学ぶ民俗学』(共著)ミネルヴァ書房 2015 年

### 松村 利規 (まつむら・としき)

福岡市博物館 主任学芸主事・民俗学

主な担当展覧会:「ドンザ 知られざる海の刺し子」2005 年

「釣道楽の世界 — 多彩なる水の趣味文化」2016 年



新修

# 福岡市史

民俗編  
春夏秋冬・起居往来



町なか、郊外、島々…  
多様な地域のなかで日々を  
営む人々の 1 年の時の流れ  
を追う—

A 5 判・1000 ページ  
5000 円 (税込) にて頒布中  
お問合せ: 092-845-5245  
福岡市博物館 市史編さん室

アクセス  
マップ



## 文化庁

Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

このシンポジウムは、「博多湾岸《金印ロード》資源活用プロジェクト」の一環として行います。このプロジェクトは、福岡市博物館と地域コミュニティが、さまざまな人の力を借りながら、地域の歴史・文化資源の魅力を発見・発掘・発信していくものです。

文化庁「平成 28 年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」採択事業です。



福岡市博物館  
Fukuoka City Museum

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3 丁目 1-1  
TEL:092-845-5011 FAX:092-845-5019  
開館時間:午前 9 時 30 分~午後 5 時 30 分まで

[www.museum.city.fukuoka.jp](http://www.museum.city.fukuoka.jp)